

2025年度 シンポジウム

オンライン 同時開催

オンライン日本語教育の これまでとこれから

参加無料

事前申込制
先着順

コロナ禍を経て、多くの日本語教育現場は対面授業に戻りました。しかし、テクノロジーの進歩に伴い、オンラインツールの開発と活用は今後も着実に進むでしょう。私たちは、オンラインを活用した学習や授業をどのようにデザインしていけばよいのでしょうか。本シンポジウムでは、オンライン日本語教育の意義と可能性について、理論と実践の両面から参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2025年 **12月14日** (日) **TKPガーデンシティ PREMIUM 京橋** [ホール 22D]
14:00 ~ 17:00 (開場 13:40) 京橋エドグラン22階 | JR 東京駅 徒歩 5分 東京メトロ銀座線 京橋駅 直結

定員

東京会場 **70** 名 / オンライン **200** 名

対象

オンライン日本語教育に関心のある方

第1部

オンライン日本語教育の潮流・展望

1. 基調講演

オンライン遠隔日本語授業のデザイン理論 — コロナ禍を経て考える融合型授業の展望 —

日本大学 通信教育部通信教育研究所 研究員 **保坂 敏子** 氏

2. オンライン日本語教材・コースの開発・実践事例

同期型オンライン授業で実現するウェルビーイングな学び — 大学初年次科目の事例から —

中央大学 文学部 教授 / アカデミック・サポートセンター アカデミック・ライティング部門長 **尹 智鉉** 氏

研究室文化を学ぶ初級日本語オンデマンド教材の開発とブレンデッド型教育実践

— 「理系×日本語」外国人材育成の出発点として — 大阪大学 日本語日本文化教育センター 准教授 **藤平 愛美** 氏

中級日本語オンデマンド教材「ここから」を活用した会話라운ジの試み

— ARCSモデルを援用した教材・プログラム設計を中心に — 東京外国語大学大学院 国際日本学研究院 教授 **工藤 嘉名子**

第2部

「日本の大学・大学院で学ぶ人のための日本語準備講座(OPJLC)」の運営

日本語準備講座(OPJLC)概要

東京外国語大学大学院 国際日本学研究院 准教授 **伊達 宏子**

オンデマンドコンテンツを活用した日本語教育プログラムの構築と展開

— 学習者・支援者・交流の視点から —

東京外国語大学 世界言語社会教育センター 特任講師 **沖本 与子**

詳細・お申し込みはこちら

https://www.tufs.ac.jp/event/2025/251214_1.html申込締切 **2025年12月3日** (水)

※ 先着順のため、定員に達した場合は受付を終了します。



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

次世代日本語教育DXセンター シンポジウム事務局

✉ nihongo-dx_events@tufs.ac.jp